

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

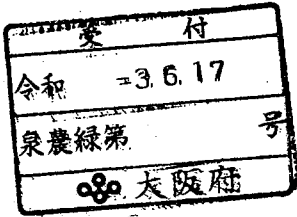
令和 3年 6月 17日

大阪府知事 様

提出者 ENEOS株式会社製造部 大阪事業所

住 所 高石市高砂二丁目一番地

氏 名 事業所長 弘永 万人



（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-268-3630

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ENEOS株式会社製造部 大阪事業所
事業場の所在地	高石市高砂二丁目一番地
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	33 電気業
② 事業の規模	発電能力：149,000Kwh /
③ 従業員数	112人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃酸は需給調整可能な場合は装置の稼働調整を行い、排出を抑制 ・廃酸はばい焼により硫酸に再生		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り他所転用・売却・自社処理を図り排出を抑制		

産業廃棄物の分別に関する事項

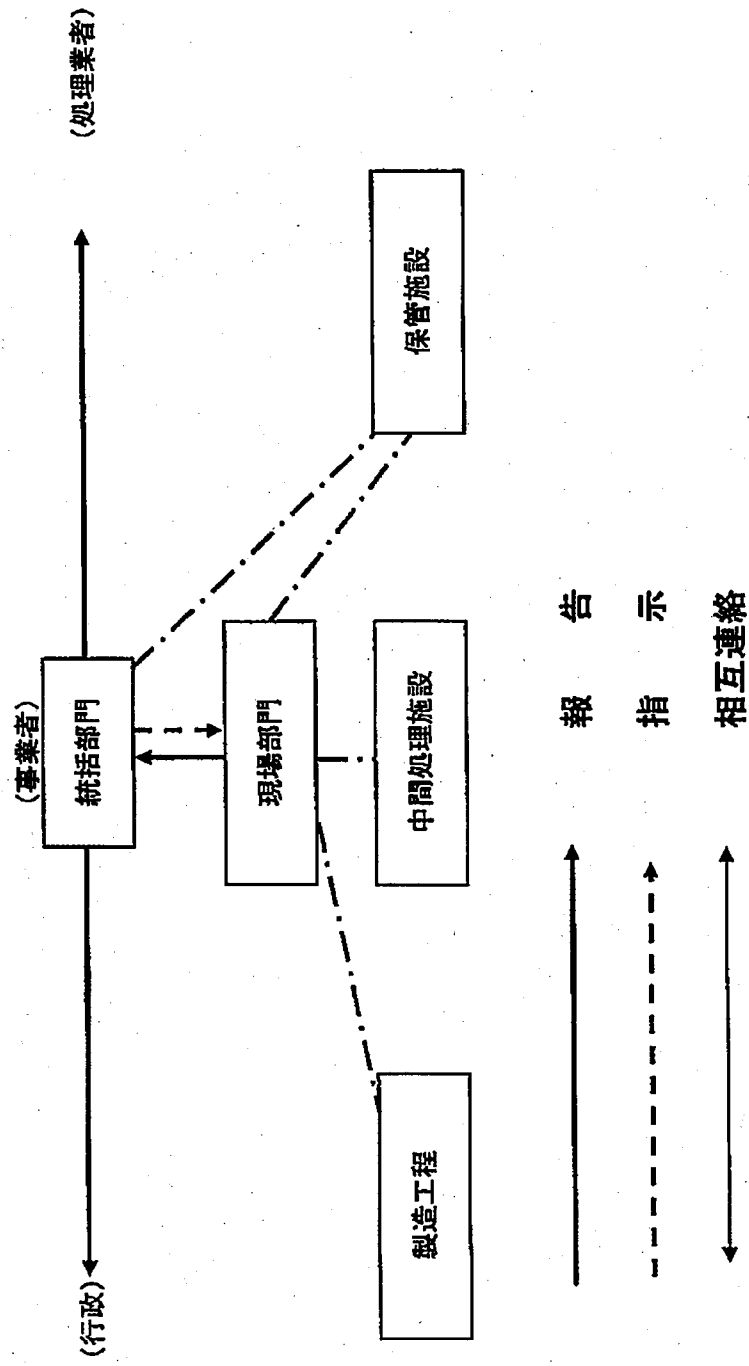
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃酸、廃アルカリ等 個別タンクで管理し分別
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出量抑制のため、性状毎の分別を図る

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和2度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和2度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	0
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特に無し			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特に無し			

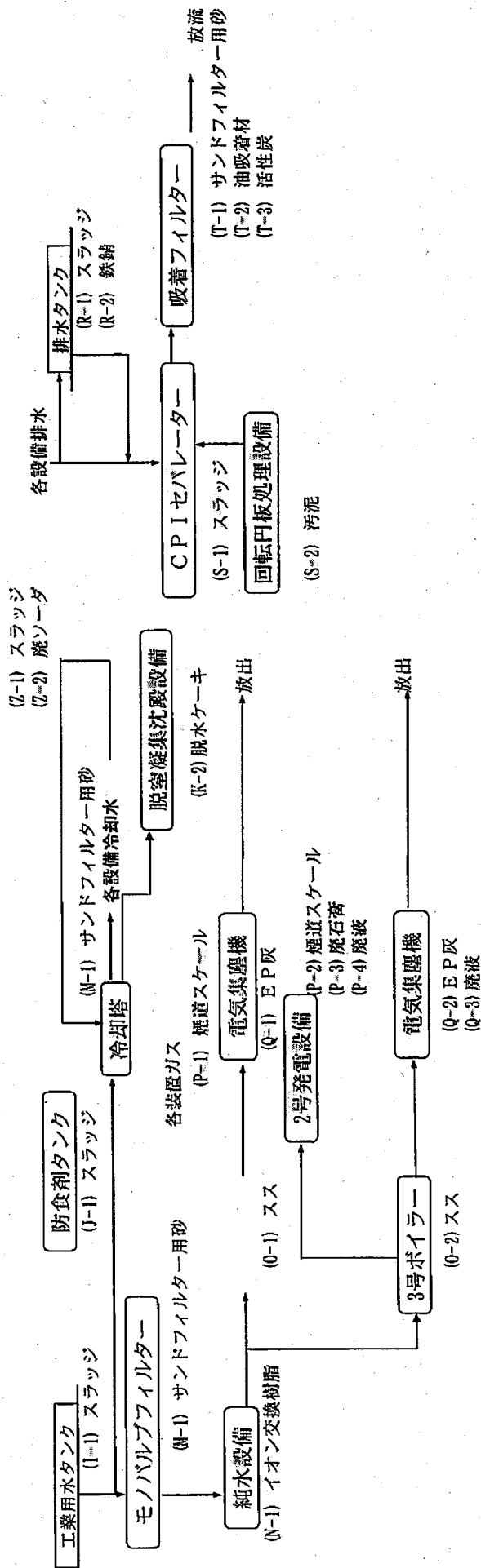
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	集計用シート（前年度実績のとおり） t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・再資源化の促進を図るため、「最終処分率を0.1%以下」を目標に処理会社を選定 ・電子マニフェスト可能な処理会社を選定		

②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	集計用シート（今年度目標のとおり） t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
（今後実施する予定の取組） これまでの取り組みを継続			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（平成元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く）	別紙のとおり	t
	（今後実施する予定の取組等） ・電子マニフェストは2009年4月度より導入し、電子化率は100%。		
※事務処理欄			

添付資料 管理体制図及び各部署の役割
 [管理体制図]



産業廃棄物発生個所フローシート



- 製品タンク**
- (G-1) スラッジ
 - (G-2) 鉄錆
 - (G-3) 保温材等
 - (G-4) 廃合成塗料
 - (G-6) 酸化亜鉛 (防臭剤)
 - (G-7) 廃油
 - (G-8) エンペローブ
 - (G-9) 廃プラスチック

- 消火薬液タンク**
- (V-1) スラッジ
 - (V-2) 消火薬液

- 所内**
- (W-1) 廃プラスチック類
 - (W-2) 金属くず
 - (W-3) 試薬
 - (W-4) PCB
 - (W-5) 水銀使用製品
 - (W-6) その他

特別管理産業廃棄物処理実績〔別紙〕

住所	〒113-8501 東京都荒川区西日暮里二丁目一番五	電話番号	03-3821-1111	FAX	03-3821-1111
名称	特別管理産業廃棄物処理センター	担当者名	佐藤 秀一	電話番号	03-3821-1111
住所	〒113-8501 東京都荒川区西日暮里二丁目一番五	電話番号	03-3821-1111	FAX	03-3821-1111
名称	特別管理産業廃棄物処理センター	担当者名	佐藤 秀一	電話番号	03-3821-1111

コード	特別管理産業廃棄物の種類 名称	計		面		容		積		積		積		積		積		積		積	
		①発生量	②処理量	③発生量	④処理量	⑤発生量	⑥処理量	⑦発生量	⑧処理量	⑨発生量	⑩処理量	⑪発生量	⑫処理量	⑬発生量	⑭処理量	⑮発生量	⑯処理量	⑰発生量	⑱処理量	⑲発生量	⑳処理量
1	7000 ①燃えやすい廃油	3,240		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000	
2	7010 ②燃えやすい廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.240		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000	
3	7100 ③H2.0以下の廃酸	595.690		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000	
4	7200 ④H12.5以上の廃アルカリ	2,302.412		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000	
5	7410 ⑤PCB汚染物	19.870		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000	
6	7480 ⑥汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.023		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000		0.000	
合計		2,911.474	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

(注1) ①～⑥は発生量として計上した。発生量がゼロの小数点以下は四捨五入して表示する。
(注2) ⑦～⑱は発生量の計上済みの数量がなくなった場合は、発生量がゼロとして表示する。

今年年度【令和3年度】目標

住所	名称	担当部署	担当姓名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物処理場	特別管理産業廃棄物処理場	特別管理産業廃棄物処理場の名称	特別管理産業廃棄物処理場の名称	特別管理産業廃棄物処理場の電話番号	特別管理産業廃棄物処理場のFAX	特別管理産業廃棄物処理場の電子メールアドレス
大阪府高石市高石二丁目一-1番地	大阪府高石市高石二丁目一-1番地	大阪府高石市高石二丁目一-1番地	大阪府高石市高石二丁目一-1番地	大阪府高石市高石二丁目一-1番地	大阪府高石市高石二丁目一-1番地	大阪府高石市高石二丁目一-1番地

コード	特別管理産業廃棄物の種類 品名	発生							処理							備考								
		①発生した量	②回収した量	③中間処理した量	④焼却した量	⑤焼却した量	⑥焼却した量	⑦焼却した量	⑧焼却した量	⑨焼却した量	⑩焼却した量	⑪焼却した量	⑫焼却した量	⑬焼却した量	⑭焼却した量	⑮焼却した量	⑯焼却した量	⑰焼却した量						
1	7000 ①漆・油	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2	7100 ②pH2.0以下の酸類	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	7200 ③pH12.5以上のアルカリ	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	7412 ④PCB汚染物	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	⑤																							
6	⑥																							
7	⑦																							
8	⑧																							
9	⑨																							
10	⑩																							
11	⑪																							
12	⑫																							
13	⑬																							
14	⑭																							
15	⑮																							
16	⑯																							
17	⑰																							
18	⑱																							
19	⑲																							
20	⑳																							
合計		1,207	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)この表は発生・処理の数量を示すものであり、発生・処理の数量は、発生・処理の数量に発生・処理の数量を加算して算出する。
 (注2)上記の発生・処理の数量は、発生・処理の数量に発生・処理の数量を加算して算出する。